

### 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「長野市北部からの共超」AC長野パルセイロ応援隊事業	
事業主体 (連絡先)	特定非営利法人 長野スポーツコミュニティクラブ東北	
事業区分	教育、文化・スポーツの振興に関する事業	
事業タイプ	ソフト事業	
総事業費	599,620 円	(うち支援金： 404,000 円)

#### 事業内容

AC長野パルセイロのサポーターを増やす。

長野市北部地域からスタジアムにより多くのサポーターを届けたい。

- ① クリニックキャラバン事業：柳原・長沼・古里・豊野・浅川・徳間の7地区を対象に、サッカークリニックを開催する。地区間の交流を図ることが出来た。
- ② 親子サッカーフェスタ事業：10月23日・11月3日に親子で参加するサッカー交流を開き、サッカーの楽しみ方を深めることが出来た。
- ③ サポーター事業：スタジアムでの応援を、10月16日・10月23日・11月20日の3回実施し、熱き応援を展開することが出来た。また、チューリップを植えや、大橋良隆氏の講演会では、94名を集客した。



【大橋良隆氏の講演】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① については、柳原(古里・長沼含む)・豊野・浅川・徳間の4カ所で実施し、その後3回、広域でのクリニックとしたことで、地区間の交流が深まった。この事が、本事業の盛り上がるのベースとなった。
- ② については、親たち世代が関わることで、サッカーの意外性や連帯感の楽しみ方を深く知る機会となった。表情豊かにプレーしている姿が随所に見られた。
- ③ については、スタジアムに入れたことに感動している姿があった。また、スタジオ全体で応援している迫力は、テレビ観戦では味わえない醍醐味となっていた。

- ① 広域での関わり・連携
- ② スポーツの持つ魅力の多様性
- ③ 一体感を感じ取れる醍醐味

#### 【目標・ねらい】

※自己評価 【 B 】

【理由】  
計画した事業は、ほぼやる尽くすことが出来た。今後、拠点化して進めてきたことを継続するために、定期的に状況把握をしていきたい。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

広域で関われる切っ掛けを創る事におおいに貢献できた。特に、柳原の住民自治協議会がAC長野パルセイロの応援体制の窓口になりそうな手ごたえが出来たことがよかった。今後も、広域での関わりやAC長野パルセイロの応援隊を組織しながら、継続的な活動を模索していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある